

第22回富士市と嘉興市を結ぶ 富士市民友好の翼文集



『嘉興市政府表敬訪問』

富士市

平成29年12月

目次

第22回富士市民「友好の翼」に参加して 団長 田中 公美子	2
第22回富士市民友好の翼・浙江省嘉興市訪問見聞録 渡辺 栄治	4
5度目の嘉興市訪問 真野 清	7
富士市民友好の翼に参加して 真野 郁子	8
「中国浙江省嘉興市友好交流訪問団」～新たな友好の絆の構築を求めて～ 前島 義之..	10
第22回富士市民友好の翼に参加させていただいて 山口 知子	12
「富士市民友好の翼」に参加して 大坂 秋男	13
第22回富士市民友好の翼に参加して！ 中川 久一	15
大変有意義だった中国訪問 井出 誠	17
友好の翼を通して学んだこと 渡邊 愛	19
富士市民友好の翼に参加して 山口 猛文	20
訪問記録.....	21

第22回富士市民「友好の翼」に参加して

団長 田中 公美子

初めての中国

期待に胸ふくらませて、11月1日(水)を迎えました。当日は雲ひとつない青空。お日様も私たちの出発を喜んでくれているかのように暖かい陽射しでした。出発式では、「うきうき、わくわくした気持ちで朝を迎えました。みなさんのお力を借りて楽しく思い出に残る5日間にしたいと思います…」云々と話したような記憶があります。13人いよいよ出発です。飛行機から見える眼下には青い海、真っ白い雲、なんとも言えない広大さを感じながらの2時間ほどのフライトでした。

驚き

夜、上海浦東国際空港に到着。広い空港内。人・人・人。大きな声で話している人たち。4車線の広い道路。無燈のオートバイ。鳴り響くクラクションの音。ナンバープレートのないオートバイ。見たことのない大きな長いトラック。猛スピードで走る車の様など驚きと恐怖感を覚え、ホテルに無事に到着することができました。

美しい

ホテルの窓から見た広場や道路では、朝早くからお掃除をしている人たちの姿があちらこちらに見えました。また、実験小学校へ行く途中の車窓からもゴミひとつ落ちていない道路やきれいに手入れされた大きな街路樹の美しさなど、街全体がとても美しく穏やかな気持ちで中国での最初の一日がスタートしました。

まず、訪問したのは実験小学校。校舎全体がカラフルな色を基調に大きな美しい小学校です。グラウンドはグリーンがとても鮮やかな人口芝でできていて、ロッククライミングも備わっていました。その日は、親子運動会が行われており、子どもたちも保護者たちもみんな笑顔いっぱい楽しそうに活動していました。

そんな大事な行事の中、女性の校長先生が校舎内を案内してくれ、私たちの質問にも快く応じてくださいました。教育機器のすばらしさ、明るい教室、明るく広いトイレなど至るところに子どものことを考えた教育設備が整い、すばらしい環境に驚きました。なんて子どもたちは幸せなことでしょう！

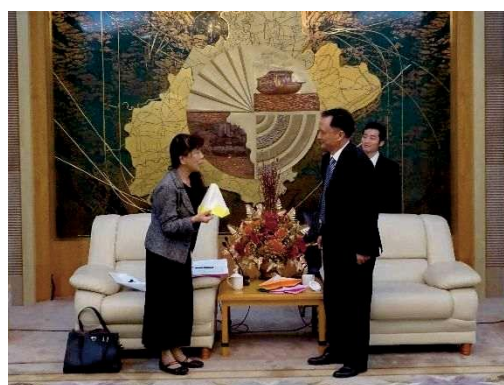
その後、家庭を訪問。私たちが訪問した家庭は今回5回目の訪問を受け入れてくださった二人暮らしのご夫婦でした。奥様は「切り絵」、「書道」、「飾りひも」、旦那様は「二胡」といった趣味をもち、老後を楽しく有意義に過ごされていました。ご夫婦からはプレゼントや元気のパワーをいただきました。

緊張

午後から嘉興市役所表敬訪問。大きな大きな立派な建物です。下から建物全体を見上げると胸の鼓動が高鳴り始めました。なんとも言えない緊張感です。室内に通されると、部屋の広さ、天井の高さ、フカフカの大きいす。今思い出してもその時の興奮状態がまた戻ってくるようです。

戴銘副主席から嘉興市の説明があった後、ひとりずつ自己紹介。みんなの顔にもやや緊張感が見えましたが、みなさん堂々とお話をされていました。最後はいよいよ私の番です。緊張はしていましたが、この時間は二度とない、自分なりに楽しもうという思いでお話させていただきました。富士市のシンボルでも富士山については、色画用紙で折った4季の富士山をイメージしながら、富士市を紹介しました。

桜色	春の富士市
みどり色	お茶の富士市
オレンジ色	みかんの富士市
黄色	紅葉の季節の富士市



これからも「友好の翼」が続くことを願っています。緊張もほぐれ、歓迎夕食会のおもてなしをうける。中国ならではのメニューでおなかいっぱいおいしく頂き、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

楽しい

11月3日(金)、4日(土)は観光を中心に古い建造物、仏像、湖、ナイトクルーズ、銭塘江逆流など貴重な物を見学、経験しました。

皮革専門市場でのショッピングは日本では考えられない楽しい買い物をする事ができ、みんなで大笑いでした。

また、夕食会でも4日間全てターンテーブル式でみんなの顔が見える中の楽しい食事会でした。最後の夕食会では、楽しみにしていた上海ガニが出てくると話に花が咲き、顔がくしゃくしゃになるほどよく笑いました。

感謝

嘉興市の手厚い歓迎に本当に感謝致します。そして参加者13名。20代～70代と幅広い年代層でしたがみんなで声掛け合い、楽しい5日間を過ごせたこと本当に感謝します。新たな友人が得られたことは幸せです。5日間お世話になりました。ありがとうございました。

第22回富士市民友好の翼・浙江省嘉興市訪問見聞録

渡辺 栄治

◆参加行事

《 実験小学校訪問 》

嘉興市には3つの実験小学校があり、今回一番新しい実験小学校を訪問した。丁度父兄参加の運動会が実施されていて、生徒との対話はできなかったが、ミニスカ・ロングヘアーの女性校長に運動会グラウンドや教室の設備などの案内説明をして頂いた。小・中・高校の学年は日本と同じだが、1クラス40名前後の教室の出入り口にあるモニターでその日の授業カリキュラムや子供達の体調管理、父兄への情報提供など電子化された一環システムに驚きを感じ、日本の教育現場との大きな差を感じた。

又、学校の授業料は無償だが、校区内への入学が条件となり実験小学校に入学させる場合は、その学区に住居を構えている必要があり住宅不足と家賃高騰、一人っ子政策が解除された中国では益々学校が不足するのではないかと感じた。

《 家庭訪問 》

Bグループメンバーは田中団長、山口夫妻、そして私の4名。バスを降りた所でご夫婦にお出迎え頂きご主人はビデオカメラ撮影、もう一人の男性が一眼カメラで写真撮影。奥さんの名前は胡(コウ)さん、現役時代は郵便局勤務だった。ご主人の汪(オウ)さんは、新聞記者だった。その知り合いがカメラで写真撮影、嘉興新聞に載ると言っていたが、新聞は見えない。15年住んでいるという建物は集合住宅で出入口には守衛さんがいた。靴のまま部屋に案内され、「チンザオ」(お掛け下さい)。テーブルの上には果物や菓子、お茶も出され接待も慣れたもので、趣味の切り絵や書道を嘉興学院の日本語専攻女子大生の通訳2名、羅(ラ)さんと申(シン)さんを通して話を聞いた。話は奥さんの趣味が主に続き、業を煮やしたご主人が二胡という楽器を持ち(歌を聴いてください)と中国伝統の京劇の中の歌だと思うが、張りのある声で朗々と歌いだした。写真も趣味らしくいろいろな会場で演奏している写真がアルバムに収められていた。二人共海外旅行に出かけているが、日本にはまだ行ったことが無いとの事。是非日本の富士山を見に来てくださいと伝えた。

接待が上手で手際も慣れていると思ったら、これまで富士市からの訪問者を5年受け入れているとの話だった。おそらく来年も受け入れるだろうと話していた。その理由は、富士市が友好都市だからと話していた。帰りに洗面間「シーショウジェン」(トイレ)を借りたが、水洗?。そばにバケツがあり用を足した後、ひしゃくで水を入れて流すのだった。

《 嘉興市政府表敬訪問と歓迎夕食会 》

市役所という印象とは違い立派な建物で、時間も夕刻だった為か一般市民の出入りは見受けられなかった。まずは戴副主席が嘉興市の歴史を話し、外事弁公室の金さんが通訳。我々は一夜漬けの中国語で自己紹介したが、通じたかどうかは定かではない。田中団長より

富士市からのお土産と団長が作った「折り紙の富士山」を手渡した。蓋付きの湯のみには茶葉が入っていて、お茶を飲むに茶葉が底に沈まず浮いて舌に付く。確か中国茶の飲み方は湯呑の蓋で茶葉を避けて、お茶を飲むのだと何かで見たような気がする。

場所を移動して役所内の食堂で歓迎夕食会。日本人にも合う味付けの中華料理が回転テーブルに所狭しと並べられた。外事弁公室主任の朱さんが日本の歌を披露してくれた。只、通訳は金さん1人だったので、嘉興政府の人達が何を話しているのか分からず、黙々と料理を食べビールを飲むばかりだった。

◆観光

《 南湖遊覧・煙雨楼 》

ここに浮かぶ船を「紅船」と言い、毛沢東主席による中国共産党発祥の地とされており、全国共産党員や嘉興市民の聖地となっている。南湖にある島「湖心島」へ渡るに手荷物検査があり、ミネラルウォーターやライター、刃物は持込不可となって警備が厳しかった。昔は「菱の実」も路上で売られていたが、その姿はなかった。

《 海寧市、銭唐江逆流見学・海寧皮革城（皮革専門市場）・ちまき工場（五芳齋）見学・シルク博物館 》

銭唐江の逆流現象は河口付近が狭く月の引力の関係で海水が川を遡ってくる。日本の一級河川の比ではなく、海かと思える程の川幅の広さがあり、アマゾン川でも見られるとか。ふと三国志演義の中で魏の国の曹操が呉の国の孫権と劉備連合軍を攻めるに長江を船で下り船体を強靱にする為鎖で船をつなげた事で、孔明の策略（火計）に嵌り大敗した「赤壁の戦い」が脳裏を過った。実際の逆流は雄大な自然現象に驚きと怖さを感じた。

嘉興市の特産品としての粽（ちまき）は、五芳齋（会社）が有名で世界各地へ輸出されている。工場見学が午後だった為、稼働していないラインもあったが、従業員は手作業で粽作りを行っており、熟練工員とそうでない従業員との差が目視できた。完成個数が出来高給料に反映されるが、社宅はない。人口の多い中国では敢えてオートメーション機械化する必要もないだろうが、お昼時間以外に小休止もなく一日黙々と粽を作るのだとの説明があった。

《 上海市、豫園・豫園商城・上海ヒルズ百階展望台・黄浦江ナイトクルーズ 》

上海の観光＝豫園と豫園商城・外灘夜景と東方明珠塔（テレビ塔）・南京路とお買物がイメージされる。豫園は人が多すぎるし、展望台はスカイツリーと比べてどうなのか。ナイトクルーズよりも南京路でのショッピング（和平米店・オールドジャズバンドのCD）が出来なかったのが、残念だった。しかも海外旅行で1万円の両替が残っているなど珍しい事だった。

◆《 感想 》

今回参加の動機となったのは、20年前仕事の一環として嘉興市からの研修生受け入れ

事業を担当。嘉興市第2期～第4期までの25名が帰国し、その後の研修生達と再会できるかと楽しみに本訪問に応募した。しかし、20年の歳月は遠く、しかも女性であることから結婚して消息もつかめない状況であった。唯一懐かしい友人、外事弁公室通訳の夏超さんに会えたことが救いとなった。その夏超さんも後2年で定年退職との事だった。

当時、研修生の面接で訪問した際の嘉興市とは比較できない程の発展を遂げており、未だコンビニは少なかったが、インフラ整備も着実に計画実行されていると感じた。

22回目の友好の翼が更に回を重ね、おもてなしを頂いた訪問家庭の人達や嘉興市民が自由に富士市に来てくれれば、本当の市民友好に結びつく事を切望しています。

最後に、団長の田中さん初め団員の皆さん、随行の渡邊さん、添乗員の村田さんに、同じ時間を共有させて頂きました事に感謝申し上げます。



5 度目の嘉興市訪問

真野 清

嘉興市と友好都市を結んで 1990 年に初めて訪中したことが中国との出会いの始まりでした。

今回は静岡空港からの直行便 15 時 40 分発で上海浦東国際空港には 18 時 15 分に無事着陸しました。時差は 1 時間。

当時の嘉興市は街路は狭く「車優先」の車や自転車はノロノロと走っていて車に注意することもなく横断する通行人も多く車は常にクラクションを鳴らしている状態でした。治安そのものは悪くはないようですが外国人が目立ち、カバンなどが狙われる可能性も高かったように思います。その後、自転車の利用は少なくなりバイク利用者が多かったです。現在では車の利用者が多く電動バイクは免許がなくても良いというガイドさんの説明でした。さらに緑色のナンバープレートの上部が少し白色になっているのは電気とガソリンの混合車という車でした。現在では運転マナーが改善されてきたようで信号を守っていました。街を巡回する警察官が多くみられ治安は安定しているようでした。

112 年の歴史ある嘉興市実験小学校は広々として明るくセキュリティがしっかりしていて恵まれた環境で教育を受ける子供達が世界にはばたく人材になってほしいと祈る思いです。家庭訪問の時に感じたのですが日中間にはさまざまな経緯があって心の中には複雑なものがあるかもしれませんが今もなお日本の歌やアニメの人気の保たれていることから日本人に対して友好的に接してくれていたと思えました。書道の先生も日本の一般家庭を訪問したいと話され日本に興味を持っているような姿勢がみえました。宿泊先のダイヤモンドホテルの 25 階回転レストランでの朝食中、以前はあちらこちらで見られた太極拳を今回は 3 日目に初めてみました。嘉興市役所の表敬訪問では市役所関係者の皆さんの熱烈歓迎を受け双方の楽しい交流を行うことが出来ました。嘉興市最後の晩餐会には 20 数年前に大変お世話になった嘉興市人民政府外事僑務弁公室通訳の夏超さんが来てくれ、当時はよみがえり、話もはずみ再会を喜びあいました。

今回の訪問は日々発展していく中国に触れることができ 28 年前に勧められて初めて飲んだ紹興酒を今回も美味しくいただきました。次回中国訪問の機会があれば熟成期間の長い程美味しいという 20 年物、30 年物を飲みたいと思います。

この素晴らしい「富士市民友好の翼」に今後ももっと多くの市民に参加して頂き、親睦、交流の輪が広がっていきます様に願うところです。旅行会社、市役所関係者の方々、団長はじめ団員の皆様方大変お世話になりありがとうございました。

富士市民友好の翼に参加して

真野 郁子

中国は以前観光で訪れた事がありましたがあまり良い印象はありませんでした。

今回、主人から富士市と友好都市である嘉興市の訪問という話を聞き少し興味を持ち不安と期待をいただきながら参加させて頂きました。

嘉興市実験小学校(公立)はやわらかく暖かな色使いの校舎で教室の中もかわいらしく1人ずつの机は他の机との組み合わせで様々な形になるというものでした。教室に入る前のセキュリティは時代の先端を行き目をみはるものでした。本人の指タッチもしくは各自のカードで本人確認はもちろんの事その日の授業内容が表示されたり体温を計る事も出来、親との連絡や子供の状態を知ることもしるようです。一般の授業風景の見学を期待していたのですが運動会でした。運動場は土ではなく見学する所もあってまるで競技場のようでした。テニスコート、バスケットコートなどもあり一年中利用できる室内プール(電気と太陽熱)もありました。女性の校長先生は国内でもトップレベルの小学校であり嘉興市の子供達だけではなく海外の子供達も受け入れようと考えているようです。将来を担う優秀な子供達が育っていくと思います。

グループに分かれての家庭訪問では満面の笑みを浮かべ昔からの知人を迎えるような表情で椅子に案内されるとお茶や果物を食べるようにと身振り手振りで嬉しそうに振る舞ってくれました。ご主人の書道の先生からはお土産にと私たちの目の前で筆を持ち好きな文字を選び1人1人に書いてくださり、頂いてきました。お弟子さん(65才の女性)は書道、ダンス、料理、絵画、旅行と多趣味の方で逆流を背にダンスをしている所、ファッションモデルの様に優雅に歩いている所、犬と戯れている所等をスマホで撮った動画を見せてくれました。二人の嘉興大学の学生を交え滞在時間はわずかでしたが有意義な時間を過ごすことができました。迎えのバスの所まで見送ってくださり別れるのがちょっと寂しく感じました。

表敬訪問先の嘉興市役所へは玄関横着けのバスから降りての訪問でした。玄関に入ると吹き抜けのすごさに圧倒されました、広々とした応接間に案内され大きなソファに座り嘉興市側からの歓迎の挨拶、中国語と日本語の交まう中、家庭訪問の時大学生二人には四声に注意して練習してきたつもり私の自己紹介の中国語を理解して頂けなかった事がトラウマになり中国語で自己紹介ができなかった事が悔やまれます。

五芳斎のちまき工場見学ではちまきを手作業で仕上げていく工程を見学しました。笹の葉を2枚重ね合せて餅米と材料(餡、豚肉、鶏肉)の具を入れて包み糸も手で巻いていました。その早いこと、100人位の人達でスピードに個人差はありましたが1分間に5~6個仕上げている人もいました。体験コーナーで私もやってみましたがむずかしく形になりませんでした。

上海での東側の黄浦江、ナイトクルーズの夜景はとってもきれいでした。

車で40分程の距離を8分間で最高時速431kmで走るリニアモーターカーで浦東空港まで行き楽しい思い出がたくさんできました。

中国の街はゴミが落ちてなくとてもきれいでした。交差点の信号も守られていたと思います。(一部)驚いたことは信号が変わる10秒前にはカウントが表示されていたことです。横断歩道の信号は赤になるのが早く途中からは駆け足をしなければ間にあいませんでした。トイレ事情には悩まされましたが「友好の翼」に参加して中国のイメージが好転し身近に感じることができました。天候にも恵まれ団長さんをはじめ皆様のおかげで訪問が楽しく無事に過ごせたことに感謝致します。ありがとうございました。



「中国浙江省嘉興市友好交流訪問団」～ 新たな友好の絆の構築を求めて ～

前島 義之

富士市は本年、中国浙江省嘉興市（平成元年締結）との友好都市提携28周年を迎え、友好交流事業（愛称：中国嘉興市友好の翼）として、去る11月1日から5日間の日程で訪中団（13人）を編成し、親善友好交流を目的に「浙江省嘉興市人民政府及び嘉興市実験小学校の表敬訪問、並びに一般家庭訪問」を行いました。

嘉興市の概況は、中国最大の国際産業都市上海市から南西に約100km、省都の杭州市まで約90kmに位置し、近郊には杭州蕭山国際空港を望み、上海浦東国際空港からは高速道路のインフラが整備されており、交通網は東西南北ともに利便性が良く、面積は約3,915平方km、人口は約458万人で静岡県の人（約367万人）と比べ90万人程多いです。

気候は、温暖型気候で年間平均気温16.5度、富士市の気候とほぼ同様で、四季がハッキリしており環境的には住みよく、風向明媚な歴史文化の香りが漂う国際文化都市です。

産業は、シルク紡績（衣類）・製紙・化学工業を中心に、近年では研究開発型の企業の集約化が伸長してきており期待されております。

また、近郊には「東方のベニス」とも称され名高い水郷の都市、紹興酒の産地で有名な紹興市があり、富士宮市と友好都市関係（平成9年締結）にあります。一方静岡県は、浙江省人民政府との間に国際友好都市関係（昭和57年締結）を結んでおり、文化・経済等の人的交流が活発化しつつあります。

小生は25年前、富士宮商工会議所事務局長時代の10年間にわたり、中国技術研修生の受け入れ支援、企業の海外取引及び海外情報を取得する為の支援を目的とした中国産業視察団を年次的に実施し、一定の成果を得ました。

とりわけ、中国技術研修生の受け入れは、当時通産省中小企業庁の全国最初の認定技術研修生受入れモデル事業として認定され、国・県の補助金助成事業として実施し、在日中国大使館から関心を寄せられ、多面的な支援を頂きました。

今回の訪中時にどれだけの中国語会話力が発揮できるか疑問視する中において、中国語による挨拶と共に、中国側の皆様と一緒に肩を組んでテレサ・テン（中国語圏では鄧麗君^{トンライジュン}）の曲『月亮代表我的心』を楽譜無しの中国語で合唱できたことが嬉しく、素晴らしい人生の良き思い出の1ページを創ることが出来ました。

本事業は、提携30周年に向けて、参加者のすそ野の拡大を計ることはもとより、市民に対する国際交流の在り方をより共有出来る仕組みづくりへ向けて、事業見直しを含め、検証を行って一層有意義な国際交流事業となることを心から期待しています。



宿泊ホテルの11階から日の出時に見た市街地は黄砂でスモッグ状態



嘉興市実験小学校のグラウンドで遊ぶ子どもたち



嘉興市の一般家庭を訪問

第22回富士市民友好の翼に参加させていただいて

山口 知子

中国の山河は美しい所が多く大好きです。ですが、旅行をしたいとは思いませんでした。風習がなじめそうになかったからです。田中先生に誘われなかったら生涯にわたって中国に行くという事はなかったと思います。

静岡空港から飛行機で2時間30分余り、飛行機の窓から見えて来た中国は広く、どこまでも続く大地でした。初日なのにホテルに着いた時、とても疲れた感じでした。

翌日、実験小学校見学を致しました。いろいろな設備の備わっている学校でした。教室の入口には、壁にiPadの様なパネルがはめ込まれていて、子供の体温がわかる機能や今の授業は何をしているか、どの教室にいるかなどスイッチを押すだけでわかるとは、先進的だと思いました。もう一つ不思議に思った事は、校長先生が若く、ミニスカートにピンヒールを履いていた事です。金昆さん（嘉興市職員）に伺いましたら「実力主義」とおっしゃられておりました。本当は共産黨員になると出世が早いというようです。

家庭訪問のお宅は奥様が切り絵を、ご主人が二胡を演奏して下さいました。ご高齢のようにお見受け致しましたが、はりのある力強い歌い方でした。

嘉興市は、車が多くクラクションもけたたましく、また、空気が汚れている様に感じました。嘉興市にいる間、夜咳が出てしまいました。

“銭塘江の逆流”を見て自然の摂理とは、偉大で素晴らしいものだと感じました。上海に移動中、行き交う車は、大型が多く日本の大型とは桁違いで、タイヤ30本のトラックも何台も見ました。上海は中華人民共和国の直轄市であるだけに、デザインの素敵な高層ビルが多く、おしゃれな街のように感じました。ナイトクルーズでは、色々な形の建築物が色とりどりに光り、水面に写り、とてもきれいでした。

帰りの飛行機の窓から富士山が見えた時、ほっと致しました。無事日本に帰って来られました事は、今回の事業に携われました富士市の職員、嘉興市の職員のご尽力のおかげと感謝致します。訪問中は、天候に恵まれ、5日間を通して、お食事は聞いていたよりも油っこくなく、わりあい食べやすく、体調を崩される方も出ず、楽しい旅でした。

「富士市民友好の翼」に参加して

大坂 秋男

私は今回友人を誘って参加し、初めて中国の地に足を踏み入れました。

私が以前勤めていた会社の社員旅行では台湾（中華民国）を訪れたことがありその際、世界4大博物館に数えられている国立故宮博物院を観光しました。そこには、中国歴代王朝の皇帝達が収集したコレクションが並び心行くまで中国文化と芸術を肌で感じる事が出来ました。この経験が私を今回の中国への旅へと駆り立てたと今思えば感じています。まず、参加させていただきました友好の翼が、始終天候に恵まれ全員無事に帰国できたことに感謝します。

始めに、私が訪れた富士市と姉妹都市提携している嘉興市で感心したのは道路の広さと地平線まで並んだクスノキでできた街路樹、整備された芝生でした。

バスのガラス越しに流れる景色に圧倒されながらも行きついた小学校では運動会と校内を見学させていただきました。授業に取り入れている最先端技術には感心させられ終始感動していたことを覚えています。

また、元小学校の国語の先生で現在は老年大学で水墨画を教えている女性のマンションへ訪問。他国の家庭を垣間見ることもでき、一般的な観光旅行ではできない体験をし、貴重な時間を過ごすことができました。

その後、嘉興市人民政府へ表敬訪問し、戴副主席以下幹部同席でレセプションを行い、中華料理を堪能しながら和気藹々とした雰囲気の中で楽しい一時を過ごすことができました。しかし、嘉興市政府表敬訪問の際に通された応接間が広いことに付け加え、通訳一人では参加全員に会話内容が行き渡らず貴重な会話の全てが理解できなかったことが心残りです。

銭塘江の河口では潮流の関係で河水が海から激しく逆流する現象を見学し、自然が生み出す不思議とその壮大な景色は今もなお私の中で記憶新しく残っています。また、革製品の製造拠点である海寧皮革城でショッピングする頃には参加者と打ち解けていることに気づき旅行も楽しくなってきたことを覚えています。

その後、ちまき工場を見学し1日約30万個が手作業作られていく様子を見て人口世界1位の中国を支えている工場のスケールの大きさに驚きました。

私の中で、今回の旅行で感銘したひとつに嘉興市最後のホテルで開催した晩餐会があります。晩餐会では前任の担当者が同席し、上手な日本語で歌謡曲を合唱披露してくださいました。さらに、現在彼の娘さんが九州を所在としている大学へ留学していると聞きかなりの親日派だと知り心が温かくなりました。全員ではないにしても現在もなお反日がまだ根強く残る中国でこれほど日本を思ってくれている中国の方を目の前にし、参加者全員も自然と彼に心を開き楽しい一夜を過ごすことができました。

帰国前日は、上海へ出向き龍華古寺、豫園を観光し中国人の信仰心の深さ、歴史を感じる事ができました。

また、上海ヒルズの100階（492m）から見下ろす街並みと夜に乗船した黄浦江ナイトクルーズでの夜景は素晴らしく今もまだ脳裏に焼き付いています。ディナーでは上海蟹を始め中華料理を代表する食材に舌鼓を打ち中国の食の文化も体験することができました。

最終日はリニアモーターカーに乗車し空港へ向かいました。約30kmの道のりを磁力の力で最高431km/hで走る科学の進歩を体感し、中国産業の発展を感じることができました。

今回の旅の訪問先・見学先には十二分に満足していますが、ボリュームの多さにスケジュールが圧され全体を通して日程的にもう少し余裕が欲しかったと感じています。

団長の大役を務めてくれました田中さん、以下参加者全員には大変お世話になりました。又、随行員の渡邊さんは私達よりもずっと若いにもかかわらずとても落ち着いており、頼りになるので安心して何事も任せる事が出来ました。最初から最後まで私たちの事を気づかせてくれた事に感謝致します。

末筆ながら貴重な体験を提供して頂いた富士市に感謝すると同時に両国がこれから発展し、未来へと羽ばたけばと祈念します。

又、今回のご縁を通じて富士市に対して異なった形で協力したいと思い、嘉興市学生友好訪問団が日本へ来た際は、ホームステイなどで協力で来たらと思います。略儀ながら書中をもちましてお礼とさせていただきます。

第22回富士市民友好の翼に参加して！

中川 久一

3千年の歴史と13億人口の中国へ挑戦、このたび富士市民として嘉興市と友好を結ぶ一員と成れた事に感激と感謝で参加しました。誘ってくれた大坂さんのおかげです。感謝しております。事前勉強をもう少し気合いを入れて旅立つべきだったと反省しきりですが、お世話になった担当者、関係者そして田中団長さん、メンバーとの連携も日を追うごとに充実してこれも大きな効果だと思います。

嘉興市は浙江省（静岡県と友好県）の北端に位置し、上海市に近接した街で中国共産党誕生の地です。上海市は中国4大都市（重慶、北京、天津）の一つであって揚子江河口の一大デルタ地帯に位置しています。

友好都市の嘉興市に着いて驚いたのは、街の規模、熟成度に驚きです。広々とした道路に街路樹が大きく茂り手入れがされ、特に高速道路の建設管理はその省の財源となるのか？幹線道路の新設改良現場では道幅は片側で4車線、緑地・自転車・歩道更に街路樹帯、道路全体幅では100mぐらいもあり縦横矛盾に整備され、さすがに中国の国土に照らした構造で整備されていました。車は欧州並みに右側通行、電動バイクと自転車が当たり狭しと走りまわっており二人三人乗りは当たり前、蟻の子を散らしたように車両の前後を走り周りっていました。車両は国内外の大型トラック、高級乗用車ばかりが目立ち小型のファミリーカーは少なかった。高級車でありながらほとんどの車が土ホコリを被っており大陸のおおらかさか、風土か？反面、街並みの古さの割にはネオンサイン、イルミネーションなどほとんどが最新のLEDを光源としておりキラキラに輝き、アンバランスな一面も感じました。水辺では運河、湖、沼で水の流れはゆるく雨上がりのように泥水色で清流に慣れている私共には馴染めない感じでした。周りに木々があるものの空気もなんとなく淀んで乾燥していました。高層ビルが立ち並び街は熟成され歴史を感じさせておりますが共にそろそろ建替えの時代に入るのか？泊ったホテルでも客室内部の設備、調度品は整っていますが老朽化にそれを感じました。

最初の施設見学「実験小学校」はここが中国の施設かと疑いたくなるような、近代化を駆使した施設で電子機器（教室・会議室はもちろん廊下、外部にも）がフル装備され、運動場は予想外に小さいが全面人工芝・トラックはウレタン張りなど「土」を触ることのない環境に整えられており、校長先生や担当の先生の説明と案内を受け、折しも親子運動会が開かれておりました。

家庭訪問では3グループに分かれて、私共Cグループ4人と嘉興市の金昆さんの案内、通訳の元で元学校の女先生で今は水墨画を教える先生のお宅を訪問しました、住宅マンション群を管理する守衛所を通してもらい15～6階建の2階部分宅へ訪問、先生は身若く田舎の叔母さん風ですが、画や近況・家族（今は主人を亡くして息子の家で同居）の事、先生は優秀な賞も沢山いただいておりアトリエも見させて戴き、お茶やリンゴ・ミカンも戴きな

がら、私共の富士山・富士市・お茶・ミカン等の事を金昆さんの通訳を通して約40分くらい情報交換し日本や富士市にお越しくださることを希望しなごやかな交流でした。

嘉興市の表敬訪問は公式行事として嘉興市庁舎へ訪問し市側4人と私共訪問団は田中団長外12人で。大変豪華な会見室で、緊張感で臨みましたが戴副主席の市の概要を交えた歓迎の挨拶、田中団長の訪問先の感慨と羨望を交えた挨拶のあと各自で自己紹介し、しばらく懇談の後記念撮影、庁舎内にある特別な接待室で歓迎の夕食会が開かれ、話の深まりや時間と紹興酒の酔いもあり穏やかな空気が漂い「テレサテン」や日本の歌が口ずさまれ相互の親近感が高まりプレゼントの交換もあって文字通り交流が出来ました。

見学箇所では嘉興市、上海市それぞれ5ヶ所を視察、見学し、歴史的もの、近代施設などに驚きや感激の連続で両市や中国への世界感が広がり大きくかわりました。詳しくは他の人や訪問記録に委ね省略します。

むすびに初めての中国、古代文明の宝庫、歴史と素朴な人柄、そんなイメージの中国は遠い昔話の筋違いであった。街中の状況では、街路は広々と整備され雑草が見られない程手入れがされ、交通信号器は赤、青は当然ながら黄色の部分に残りの秒数が刻まれていく最新信号、街路灯はLED照明、共産国にこんなに必要なのかと思うくらい誇大過ぎる大きな広告塔や板、そのほとんどがあかるく輝くLED発光を使っている、建物のライトアップなど街区整備が進み装飾され街づくりが進んでいます。

人々は、せわしなく走り回り、眼は血走り、行列には押し込み割り込み、イントネーションの違いか甲高い言葉の応酬は喧嘩をしているような風紀で自分を失うような戸惑いを感じた。またニュースで見かける日本へ来て爆買などの商品（電器炊飯器など）を大きなポストンバック2～3個を持って帰国する人々と飛行機で同乗したり多くの人を見かけた反面、スマートフォンの普及は老人の叔母さんまでが持ち日本を凌ぐ状態に近代化が伺えた。

この友好の翼に参加できて世界感、国際性が高まったと自負しています、中国、嘉興市、上海市ほんの一部に過ぎないが見て触れて、感じて来たこと遅まきながらこれからの糧としたいものです。また相手の嘉興市に対しても富士市、日本の情報を発信出来るような気概や研鑽をして行きたいものと思っています。最後に主催の富士市の担当のみなさん、旅行社、同行のみなさん本当にありがとうございました。

大変有意義だった中国訪問

井出 誠

富士市と嘉興市を結ぶ「富士市民友好の翼」に参加させて頂き、有意義な5日間を過ごすことができました。嘉興市の政府から、厚遇され感激しました。

天気もよく、私たちに何ら問題なく、無事に過ごせたのは、貴室の渡邊様のお陰です。私にとりまして、人生のすばらしい1ページを飾ることができました。誠にありがとうございました。

「富士市民友好の翼」の一番の目的とは、嘉興市の表敬訪問です。

同時に、私にとっての旅行の目的とは、

- 一つ 中国旅行を楽しむこと、感動、感激を味わうこと
- 二つ 中国経済の発展を肌で感じるること
- 三つ 中国から日本を見て、日本を考えること

でした。

今回の旅行では、三つの目的をほぼ達成できました。

中国旅行を「楽しむ」「感動、感激すること」については、嘉興市のモデル小学校校の見学し、中国が教育に強い力を入れていることに「すごい、日本は、負けているな」と、感じました。

一般家庭の訪問では、夫妻が、笑顔一杯で歓待してくれ、感激し、そして、^{せんとうこう}銭塘江の逆流に目を見張りました。

更に、上海でのナイトクルーズによる夜景、上海ヒルズの100階から展望し、林立するビル群に感動しました。

私たちは、昼間の観光について楽しい会話をしながら、夜の中華料理を堪能しました。

「中国の成長を知ること」については、上海の高層ビルの林立、建設中のビルのラッシュ、嘉興市から上海までの四車線の高速道路、走行する高級車、時速431キロリニアモーターカー、広大な上海空港、嘉興市の道路の周りが整備されゴミ、空き缶など落ちてなくすばらしい町並木、などなど現在の中国の成長ぶりを肌で感じました。

しかし、何事にも、「表」と「裏」があり、中国の沿岸都市と奥地との経済格差、又、都市でも一步裏通りに入れば、貧民街もあることでしょう。

今回の中国の研修旅行では、中国の「表」しか私は、見ておらず、私が、中国の成長のすごさを語るのは早計かもしれません。

「中国から日本を見て感じたこと」については、日本のすばらしさをいくつも感じました。
例えば

- 一つは、日本では、蛇口を開ければ安心して水を飲めること、
- 二つは、日本の高速道路のサービスエリアのトイレは、非常に衛生的なこと。
- 三つは、中国は、道路を走る車のクラッシュが多いこと
- 四つは、ガイドさんが携帯電話をキップ売り場に置き忘れ戻りませんでした。日本ならば、
サイフなどを落としても80%近くは、戻ります。
- 五つは、ホテルのバスルームのお湯が温かくならなかったこと。
など、日本の安全、安心を痛感しました。

最後に、中国と日本は、政治的に尖閣諸島問題、又、歴史的に南京大虐殺で必ずしもうまく
くいていませんが、お会いした人たちみんな、親日家で歓迎して下さり、温かさに直^{じか}に触
れて、感激しました。

世界の国々は自分の国だけでは決して生きてはいけません。思いもよらぬ災害がいつ起
こり、いつ援助を受ける立場になるかもしれないからです。お互いに助け合い、支え合う精
神は、国境も越えて大切なことです。

そして、戦争、テロなど起こらないようにするために、私たちは、多くの国の人たちと、
仲良しにならなくてはなりません。

国と国どうしが仲良くなるには、一人一人が、友好という気持ちを一心に持つことが世界
平和につながると「富士市民友好の翼」に参加させて頂き、強く感じました。

友好の翼を通して学んだこと

渡邊 愛

嘉興そして上海で過ごした5日間は、私にとって刺激的であり、また多くの学びをもたらしてくれました。そのなかでも友好の翼を振り返る上で、特に大きな位置を占めるものは2つあります。

1つ目は、嘉興市の歴史の深さと文化の広さです。空港に着き、移動のバスの窓から見た嘉興市は、「どこかで見たことがあるような、よくある大都市」でした。道路も建物も、なんだか世界中どこでも似通っている気がして、嘉興市も例外ではないのかと少しさみしく感じたのが事実です。都市や国の発展、そしてグローバル化が進む中で、文化の画一化や多様性の消滅が問題視されているという話はよく聞いていましたが、実例を目の当たりにした気持ちでした。しかしながら、その後市内を視察する中で、嘉興市では歴史も文化も保護され受け継がれていることが分かりました。中国共産党の第1回全国代表大会が行われたという南湖は、中国においても大きな文化的な意味を持つ場所であるだけでなく、起源は唐までさかのぼるといふ煙雨楼もあり、深い歴史を感じました。また、シルク博物館やちまき工場の見学から、嘉興市の伝統的な特産物は産業として維持されているということも分かりました。嘉興市内の見学を通して、いわゆる一般的な大都市といった第一印象は消え去り、深い歴史と広い文化に魅力を感じました。

2つ目は、参加者のみなさんの異文化に対する感じ方の差異です。私は、大学で異文化理解や多文化共生を教科として学んでいるだけでなく、学内外のプロジェクトに参加し、様々な国籍、宗教、アイデンティティーを持つ人たちと共に活動しています。そのため、日頃から異文化に触れ、多様な価値観を持つ人たちの中にいると自負していました。しかしながらこの5日間を通して、人によって異文化に接したときの反応が大きく違うことに気づきました。人は、これまでに蓄積された経験や知識によって、処理の形が異なっていたように思うのです。その文化をそのまま受け入れる人もいれば、自分自身をその文化に適合するように変化させる人もいて、はたまたその文化を拒否する人もいます。私は今まで、異文化に対して近い考えを持った人といることが多かったのか、このような差異に気づいたことがありませんでした。このような気づきができるのも、幅広い年代、そして様々な社会経験や考え方、価値観を持つみなさんと中国での5日間を共に過ごすことができたからでしょう。

以上のように、私は友好の翼に参加し、嘉興市の魅力的な歴史と文化を学び、また異文化に対するリアクションの差異についての気づきを得ることができました。大変貴重な経験になりました。みなさまありがとうございました。

富士市民友好の翼に参加して

山口 猛文

今回、富士市民友好の翼に参加させていただき、初めて中国を訪ねる事になりました。静岡空港から上海浦東国際空港まで約2時間半で到着しました。空港のあまりの広さに驚き、やはり大陸だと実感しました。そして入国審査、通関手続をして入国し、嘉興市へ向かいました。

2日目、最初に訪問したのは実験小学校です。とても設備のそろった小学校で、一年生から将来どのような分野でも活躍出来るエリートを養成する教育をしていると感じました。当日は運動会を行っていました。運動場は人工芝で、タイヤの上に子供を乗せて親が引っ張る競争をしています。その他、ボルタリングの設備もあり、良い環境だと思いました。

3日目はちまき工場見学、シルク博物館見学そして銭塘江の逆流見学、逆流は津波のようで自然の力はすごいものだと感じました。

移動の際感じていたのが、原付バイクが多く、二人乗り三人乗り、あげくはノーヘルメットと日本では考えられません。嘉興市の職員の金昆さんに尋ねたところ、原付にエンジンはなく、充電バッテリーで動くとの事で、免許もいらないので購入後すぐ乗って帰ると聞いて驚きました。運転は危ない、逆走している人、夜も無灯、クラクションを鳴らすのが多く、驚く事ばかりでした。

4日目は上海に移動しました。高速で2時間以上かかり、上海観光を致しました。上海ヒルズ100階展望台からの景色は、素晴らしい眺めでした。夜はナイトクルーズ、大小のビルからのイルミネーション、ネオンがとても美しかったです。

5日目は、龍陽路駅から上海浦東空港への移動、リニアで移動致しました。室内も広くスピードも400キロオーバーと初めての体験をしました。予定時刻より一時間以上遅れましたが、無事静岡空港から市役所へと着きました。

御同行の皆様、市役所の渡邊さん、タビックスの村田さん、お世話になりました。

訪問記録

1 期間

平成29年11月1日（水）～5日（日）の5日間

2 訪問先

中華人民共和国 嘉興市、上海市

3 日程

11月1日（水）

- | | |
|--------|---|
| 11時15分 | 富士市役所集合 |
| 11時30分 | 出発式の後、富士山静岡空港へ出発 |
| 15時40分 | 富士山静岡空港発 |
| 17時20分 | 上海浦東国際空港着
入国手続き後、嘉興市人民政府外事弁公室の金昆氏と合流 |
| 22時30分 | 夕食後嘉興市に移動し、宿泊ホテルへチェックイン |

11月2日（木）

【午前】

- ◆嘉興市実験小学校（科学技術キャンパス）見学
 - ・今年開校したばかりの科学技術キャンパスの最先端の設備と校内施設、当日行われていた親子運動会の様子を張校長、陸副校長の案内により見学。
 - ・張校長による学校紹介プレゼンテーション。
- ◆家庭訪問
 - ・3班に分かれて、嘉興市内の3家庭を訪問し、嘉興市民の実際の暮らしぶりを見聞する。訪問先は書道や切り絵、水墨画等の趣味を持つ方々のご家庭で、各々温かい歓迎を受ける。
 - ・通訳として、嘉興学院（大学）の日本語専攻の生徒4名が合流。

【午後】

◆南湖見学

- ・南湖は浙江の三大湖の1つで、嘉興市の南側に位置するため「南湖」と名付けられた。
- ・南湖の中心に位置する湖心島へ遊覧船で渡り、島の楼台「煙雨楼」を見学。
- ・中国共産党第1回全国代表大会が南湖の船上で行われ、共産党結党の地として重要な場所。湖上には会議を行った遊覧船の模型が展示されている。

◆嘉興市表敬訪問

- ・戴銘氏（政協浙江省嘉興市委員会 民建嘉興市委員会 副主席）、高梓福氏（中国人民政治協商会議 浙江省嘉興市委員会 秘書長）、朱永明氏（嘉興市人民政府外事僑務弁公室主任）、庄玉娥氏（嘉興市人民政府外事僑務弁公室副主任）と会見。
- ・戴銘氏の挨拶及び田中団長の挨拶。
- ・お土産品の交換。
- ・今後も両市の友好関係を発展させていくことを確認。

◆歓迎夕食会

- ・戴銘氏、高梓福氏、庄玉娥氏、朱永明氏、金昆氏（嘉興市人民政府外事僑務弁公室国交処副処長）による歓迎夕食会。

11月3日（金）

【午前】

◆銭塘江見学

- ・銭塘江は下流の川幅が広く水深が浅いため、干満の差が激しい川である。こうした地形により、満潮時には海面が川の水面より高くなるため逆流が起き、天下の奇観とも呼ばれている。

【午後】

◆海寧皮革城

- ・中国で規模が一番大きいとされる皮革の専門市場。

◆五芳齋（ちまき工場）見学

- ・過去20年で中国最大の食品工場・ファストフード企業へと成長した老舗ちまきブランドである五芳齋グループの生産工場を訪問。中国全土への出荷量は全国一を誇る。
- ・1日にあたり30万個のちまきを生産し、従業員1人あたり約2000個のちまきを包む。ちまきを包む作業は機械化していないため、すべて手作業。

◆シルク博物館見学

- ・シルクロードやシルク製造の変遷を見学。

11月4日（土）

【午前】

- ◆ホテルチェックアウト後、バスで上海へ移動
- ◆龍華寺参拝

【午後】

- ◆豫園・豫園商城見学
- ◆上海ヒルズ100階展望フロア見学
- ◆黄浦江ナイトクルーズ

11月5日（日）

【午前】

- ◆ホテルチェックアウト
- ◆バスで龍陽路駅へ移動し、龍陽路駅から上海リニアで上海浦東国際空港へ

【午後】

- | | |
|--------|--------------|
| 13時00分 | 富士山静岡空港へ向け離陸 |
| 16時45分 | 富士山静岡空港着 |
| 18時20分 | 富士市役所へ到着、解散 |

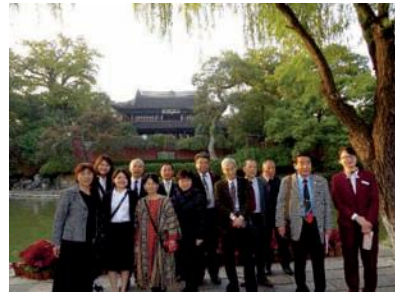
美驗小学校



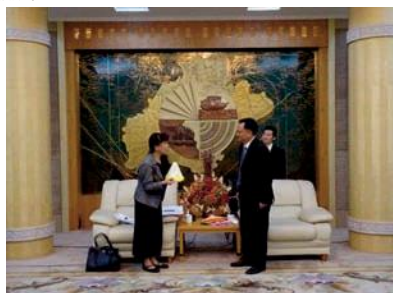
家庭訪問



南湖



表敬訪問



錢塘江



海寧皮革城



シルク博物館



五芳齋ちまき工場



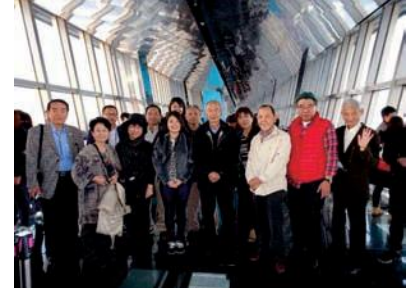
龍華寺



豫園



上海ヒルズ100階展望台



黄浦江クルーズ



上海リニア



